

令和元年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）				整理番号	5 - 4 - 2
事務事業名	ごみ減量・再資源化推進事業			担当課係	環境衛生センター
総合計画上の位置付け	政策	① 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり		記入担当者	森井 郁男
	基本目標	3. 自然と共生するまちづくり		内線等	32-8290
	施策	3-1 自然との共生の推進		E-mail	eiseicenter@city.komatsushima.tokushima.jp
	基本方針	3-1-2 循環型社会の実現			
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）			事業区分	経常事業
事業予算費目	款	4	衛生費	項	2 清掃費
	目	1	清掃総務	事業	2 ごみ減量・再資源化推進事業
開始年度		年度	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

事業の対象	（誰の、何のために事業を実施するのか） 小松島市衛生組合連合会に資源ごみ回収団体登録している各種団体に対し、市内のリサイクル率向上のために実施している。
事業の目的 （意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） 市民が生活に伴って排出される一般廃棄物の中で、リサイクルできるものを資源として有効に活用し、ごみ減量化を図るため。
事業の内容 （内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） 各地域や学校単位で組織された各種団体が、ごみの減量化のために、紙類・金属類・ビンガラス類を資源としてごみを再資源化し、有効に活用するもの。
事業の背景 （経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） 従来は廃品回収として各組織が個別に実施していたものを、小松島市衛生組合連合会の事業として組織的に実施することにより、住民意識の高揚と団体の活動補助を行う事により、ごみの減量化に大きく寄与している。

■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名		指標の説明				指標化できない成果
	単位	H30	R1	R2	R3	目標年度	
						目標値	
						令和4年度	
	紙類・金属類・ビンガラス類の回収量					340,000	
	kg	360,000	355,000	350,000	345,000		
	実績	271,066	257,882				
	達成度	75.3%	72.6%				

活動実績・参考となる指標	指標名		単位	H30	R1	R2	R3	指標の説明
				計画	実績			
	団体数	団体	50	42	50	50		
	紙類	kg	計画	345,000	260,050	340,000	335,000	330,000
			実績	11,017	12,852			
	金属類	kg	計画	14,000		15,000	15,000	15,000
			実績	100	100	100	100	
	ビンガラス類	本	計画	0	17			
			実績					

■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

全体コスト	関連事業費	H30年度決算		R1年度決算		R1年度予算		R2年度予算		
単位コスト	A	直接事業費	2,843,169	2,803,287	2,886,000	3,189,000				
		財源内訳	国県支出金							
			地方債							
			利用者負担							
			一般財源	2,843,169	2,803,287					
		B	人件費 ①×②	4,079,709	3,973,281					
			職員平均人件費①	8,159,418	7,946,561					
			従事した割合②/人	0.50	0.50					
			A + B	6,922,878	6,776,568					
			活動指標の説明		事業費/リサイクル量（紙類+金属類）	事業費/リサイクル量（紙類+金属類）			備考	
	活動指標 1 単位当たりコスト		26	26			平成30年4月1日現在 人口38,156人			
	市民一人あたりのコスト		181	179			平成31年4月1日現在 人口37,795人			

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 今現在は、資源ごみ(紙類・金属類・瓶類)をリサイクル業者に持ち込んだ場合は有償であるが、社会情勢等により過去のように逆有償となることも考えられ、市の財政状況も考慮しながら報償金単価について変動が予想される。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 小松島市衛生組合連合会を通じて登録している各種団体ともに組織の活性化にも大きく寄与しており継続を強く要望されており、報償金単価についても、過去の経緯で指定ごみ袋の売り上げ金の還元の意味もあるので、紙類8円/kg、金属類5円/kg、ビンガラス類3円/本は厳しい財政事情も理解できるが維持してほしいという要望が強い。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果 (該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	各団体ともに、リサイクル意識が向上しており、本市のごみ減量化・再資源化のためにも必要であり、住民からのニーズも強い。
	<input type="checkbox"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="checkbox"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="checkbox"/> ① 市が行わないといけない	市民が生活する中で排出されるごみ(一般廃棄物)の処理は地方自治体の責務であるが、各市民団体の自主的なリサイクル活動に依存しているところは大きい
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="checkbox"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいか、コスト削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> ① 効率的である	ごみ減量化・再資源化を市民のご理解とご協力なしでは実施が出来ない。すべての事業を直営で行うよりも、現在の衛生組合連合会への委託方式が効率的である。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="checkbox"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="checkbox"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="checkbox"/> ① 緊急性が高い	今後もリサイクル事業を進め、ごみ減量化・再資源化を実施することにより、可燃ごみが削減され経費の節減や最終処分場の延命化にも寄与する。
	<input type="radio"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="checkbox"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="radio"/> ① 成果が上がっている	社会情勢や経済情勢に大きく左右されるが、今後も市民が、自主的に環境学習に取り組める機会の提供や、各地域で中心的な役割を果たす地域清掃推進員の育成及び、小・中学生に対する環境教育への取り組みに努められている。
	<input type="checkbox"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="checkbox"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="checkbox"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	市内で多く発生している、資源ごみ(資源物)の持ち去り行為について、職員による定期的な早朝パトロールを実施しており、今後も事業の公平性・透明性の向上に努める。	

■一次評価 (評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	80 点 以上	評価点による判定	判定に至った理由
		2 現状のまま継続する	60 ~ 79 点		
2	事務事業の方向性	3 改善・効率化し継続	40 ~ 59 点	評価点	一般廃棄物(生活ごみ)については自治体の責任で処理しているが、資源ごみについては住民のご理解ご協力によって減量化と再資源化が出来ている。今後も住民の意見も取り入れながら、さらなる事業の推進を図ることが望まれる。
		4 終期設定し終了	20 ~ 39 点	2	
		5 完了・休止・廃止	19 点 以下		

■改善・効率化の方向性 ※一次評価の判定が3の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容(方向性・対象・手段等について記述)】

■二次評価 (所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	判定説明
		2 現状のまま継続する	
2	事務事業の方向性	3 改善・効率化し継続	今後も、ごみの減量化と再資源化を推進していき、小松島市衛生組合連合会の活動のさらなる充実を図る。
		4 終期設定し終了	
		5 完了・休止・廃止	